

穂の風

Honoka

社会福祉法人 宮城厚生福祉会
介護老人福祉施設
田子のまち





桜やあやめを見に外出し、久しぶりに外の空気を感じてきました。

他にも誕生日のお祝いや行事を企画し、楽しんでいただけて嬉しかったです。88歳の米寿のお祝いにはちゃんちゃんこを着ていただいて記念撮影をしました。みんなにお祝いされておすました表情をパチリ☆おめでとございます！



5月には母の日に日頃の感謝を込めてお祝いをし、カーネーションとプリンをプレゼントしました。6月にあやめを見に、久しぶりにお出かけをしてきました！7月にはかき氷と綿あめを皆様と一緒に作りました。

様々な行事を通して、入居者様の笑顔と思い出をこれからも沢山作っていきたく思います！

春風

ふたば

春先に久しぶりに桜を見に外出をして来ました。外の風を感じるだけでもとても気分転換になり、入居者様に喜んでいただけました。コロナ禍でなかなか外出をすることも難しいですが、新しい仲間も加わったので、またたくさんの笑顔が見られるよう、楽しい企画と一緒に考えていきたいと思います♪



夏月

すずか

コロナ禍でなかなか外出できない日々が続いていましたが、4月はお花見、6月にはあやめ園に行く事が出来ました☆今後も、入居者様が季節を感じられるような生活を送れるようたくさん企画を立てていきます！また、4月からすずかユニットに、新人職員が1名入職しています。どうぞよろしくお願い致します！





実習生さんと一緒にプリンアラモードを作りました。それぞれ皆さんに好きな感じで飾りつけてもらい、美味しくいただきました。

梅雨時期の外出が難しかったので、紫陽花の花を囲んでの観賞会。満開に咲く紫陽花に、入居者様の笑顔に、職員は毎日元気をもらっています！

秋晴

みのり

入居者様の誕生日のお祝い、たこ焼きパーティー、カレー作り、野菜作りなどたくさんの行事を行っています！入居者様の声に耳を傾け、できるだけしたい事、やりたい事を実現し職員も入居者様も笑顔があふれています(^▽^)

2022年後半もやりたいことはいっぱい！たくさん企画を考えたいきます！

春にはお花見、夏には花火と、季節を感じられるような行事を行いました。また、外へ行けない時にはユニットでお茶をたてて楽しんでもらったり、少しでも楽しんでもらえるような企画を考えました。職員は入居者様の笑顔に何よりも元気をもらっています！またたくさん楽しい企画を考えたいです！

美冬

こうめ



春にはお花見外出に行き、今年は四季を感じられるイベントを行うことが出来ました。

入居者様の皆さんが「久しぶりの外出で楽しかったよ」と言ってくれたのが何よりも嬉しかったです！

毎月ではありませんが、入居者様のお誕生日に合わせて他の入居者様や職員でお祝いをしています。「おめでとうございます」と伝えられると、やっぱり皆さんニコニコ笑顔になりますね。



田子のまち内イベント 実施できました



今年も感染対策を行った上で、お茶会やお買い物イベント、映画会などを開催しました。

好きな飲み物を選び、いつもと違う雰囲気の中でおやつを食べていただくと、「なんだか喫茶店に来たみたいだね」と入居者様も喜ばれていました。また、お買い物イベントでも欲しい洋服やご飯のお供など、真剣に吟味されている入居者様たちが印象的でした。

原水爆禁止

2022年世界大会に参加して

大沼 晴与



8月6日に広島で行われた原水爆禁止2022年世界大会に、リモートで参加させていただきました。広島や長崎の原爆について学校などでも学ぶ機会がありましたが、現在の世界情勢も重ねて考えることで、より一層身近なものとして世界平和や核兵器廃絶を願う機会となりました。

事前に行われた学習会では、被爆者の方たちの長年続く体への影響や差別、それが自分だけではなくその下の世代まで連鎖し続け、今でも苦しむ方たちが大勢いるという、耳を塞ぎたくなるような現実を学びました。核兵器は人を殺すためだけに存在するものであり、この世から無くさなくてはならないものだと感じました。

暴力で人や国を抑え込もうとしても何の解決にもなりません。また、核兵器の上に真の平和は存在しません。唯一の被爆国だからこそ、核兵器のない世界の実現のために先頭に立って核廃絶のための声を挙げ続けることが必要だと思いました。

職員会議



数年ぶりに全体職員会議が開催されました。各部署での2021年度の総括、2022年度の目標が発表されました。各部署で毎年総括・目標設定を行っているものの、それを発表する場がなく、他部署についてどんな目標を立てているのかなど知る機会がありませんでした。施設全体で同じ方向を向いて取り組んでいくためには、やはり自分たちの部署以外のことも知ることが大切だなと改めて感じられた会議となりました。



事業活動収支計算書

(自) 2021年4月1日 (至) 2022年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		決算額
収 益	介護保険事業収益	401,866,918
	その他の事業収益	385,267
	経常経費寄付金収益	710,000
	サービス活動収益計①	402,962,185
費用	サービス活動費用計②	402,572,549
	サービス活動増減差額③=①-②	389,636
収益	サービス活動外収益計④	21,753,153
費用	サービス活動外費用計⑤	10,413,421
	サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	11,339,732
	経常増減差額⑦=③+⑥	11,729,368
収益	特別収益計⑧	1,314,404
費用	特別費用計⑨	2,900,745
	特別増減差額⑩=⑧-⑨	△ 1,586,341
	当期活動増減差額⑪=⑦+⑩	10,143,027
	前期繰越活動増減差額⑫	△ 125,171,130
	当期末繰越活動増減差額⑬=⑪+⑫	△ 115,028,103
	次期繰越活動増減差額	△ 115,028,103

施設全体としては開設以来初めて黒字となりましたが、累積赤字が1億円を超え以前厳しい経営状況にあります。昨年8月には一部の入居者には補助制度の縮小で負担が上がっています。経営にも利用される皆さんにもよりよい介護保険制度の改善を求める署名をこの秋も取り組みたいと思います。また、多くのご寄付を頂き、お心遣いに感謝いたします。秋の緑日など、入居者の皆様のために大切に使用させていただきます。

2021年度事故総数

時間帯	事故種類	転倒	転落・滑落	誤嚥	誤薬・誤配	溺水	火傷	異食・誤飲	暴力	感染症	褥瘡	無断外出	あざ・外傷	介護中の骨折	折・あざ・外傷	原因不明の骨折	破損・紛失	その他	計
0~3		4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	10
3~6		5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	17
6~9		8	8	0	6	0	0	0	0	0	0	0	1	38	0	0	0	1	62
9~12		7	11	1	3	0	0	1	0	0	0	1	6	83	1	0	0	0	114
12~15		3	9	1	2	0	1	0	0	0	0	0	5	31	0	0	0	0	52
15~18		5	10	0	5	0	0	2	0	0	0	0	2	24	1	0	0	0	49
18~21		5	10	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	23	0	0	0	0	42
21~24時		5	11	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	23
計		42	65	2	18	0	2	4	0	0	0	1	15	215	3	2	0	0	369

【骨折 2件】

- 夜勤者が朝方にお部屋に伺うと、居室内の床に座っているのを発見した。
右大腿部の痛みがあり、当日救急搬送となり「右大腿骨頸部骨折」の診断を受けた。
- 隣のお部屋の方から「すごい音がした」とあり、お部屋に伺うと、洗面台の前で床に倒れていた。
当日救急搬送となり「左大腿骨頸部骨折」の診断を受けた。

【誤薬 18件】

- 他の方の薬を服用させてしまった (2件・重大事故)
- 頓服の薬を1錠服用するところを2錠服用させてしまった (2件)
- 起床時薬を服用し忘れてしまい翌日に変更して服用した (2件)
- 服用後に錠剤が落ちているのを発見した (8件)
- 夕食の薬を服用していないことに翌日気が付いた
- 夕食後の薬が入ったカップを気づかず洗ってしまった

- 時間薬を服用し忘れた
- 夕食後に翌日の朝食後の薬を服用してしまった

【誤嚥 2件】

- 他の方のおやつを食べてしまった (2件)

【異食・誤飲 4件】

- アルコールジェルを舐めてしまった
- 鯖アレルギーの方に鯖を提供
- ポリドントを食べてしまった
- 保冷材の中身を口に入れた

【破損・紛失 3件】

- パルスオキシメーターの電池交換時部品を破損
- ベッドの上げ下げした際にNCを破損 (2件)

【その他 2件】

- フォーレバックの管が抜けていた
- 糖尿病の方にお煎餅を出してしまう

2021年度苦情報告

2021年度は5件のご意見をいただきました。内容については、下記の通りです。

- *入院の際、施設(田子のまち)での状況をしっかりと伝えてもらっていない。病院での説明と施設看護師の説明内容が食い違っていた。要望を伝えた際、職員の返答が少し冷たく感じた。
- *職員が忙しそうにイライラしているのを感じて頼みづらい。(入居者様より)
- *窓越し面会の際、部屋の中(筆筒の上、洗面台等)が汚いと思った。10日前の退院時に持ってきた紙袋がそのまま筆筒の上に置かれていた。
- *職員の態度について気になる。機嫌のいい日と悪い日があり、悪い日は服を着せたり脱がせたりするのが乱暴な気がする。
- *入院時、状況がよく分からないまま看護師さんに帰られてしまって困った。入院時に他の方の毛布が掛けられていた。体調があまりよくないのは分かっていたが、入浴がほとんどできずにいたのは知らなかった。

貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございます。これからも、皆様が満足して過ごせるよう、「田子のまちで良かった」と感じていただけるよう、誠心誠意対応させていただきます。

言いくいとせず、気軽に話しただけると嬉しいです。今後とも、どうぞ、宜しくお願いいたします。

虐待防止勉強会

昨年度に引き続き、グループホームよもぎ埜の蓬田裕樹先生をお迎えして、高齢者虐待防止の勉強会を開催しました。職員一人ひとりによって「適切」「不適切」の感じ方は様々で、その線引きは難しくはありますが、自分たちのこのケアはどうか、常にユニットの中で相談したり振り返って考え続けることが大切だと思いました。

不適切ケア防止勉強会

介護現場での不適切なケアについて各ユニットで勉強会を開催しました。事例を通し、意見を聞いていく中で、小さな問題一つをとっても、考え方はそれぞれで、色々な見方があることを改めて感じました。チームで取り組んで行く意味を考えながら、今後も不適切なケアの防止に努めていきたいです。

看取り対応勉強会

ケアマネジャー主催で看取り期に起こる体の変化とその変化に合わせた対応方法についての勉強会が開催されました。焦らず対応するために、繰り返し基本を学ぶことが必要だと感じました。一人ひとりその方の「看取り」に合わせて、入居者様やそのご家族の要望や不安な思いなど、丁寧に伺いながら安らかな最期の時を迎えられるように、これからもみんなで同じ方向を向いて看取りケアを行ってまいります。

感染症対策勉強会

手洗いチェッカーを使って、自分はどこに手の洗い残しが出やすいのか、確認しました。普段何気なくやっている手洗いです。いざチェッカーを使ってチェックしてみると、手首や爪の隙間などに洗い残しが出やすいことが分かりました。自分の洗い残しの癖を知れたので、感染予防として、より意識してこれから手洗いを行っていきたいと思えます。

介護実習生のみなさんと



今年度も各専門学校から数名の実習生が田子のまちに来て実習を行いました。

どのようにコミュニケーションを図ればいいのか、四苦八苦

しながらも、入居者様と一生懸命に関わる姿に私たち職員も良い刺激を受けることが出来ました。未来ある学生さん達のこれからが楽しみです。いつか田子のまちで一緒に働けるといいな～。



ボランティア活動 ありがとうございました



夏休みを利用して、高校生や大学生がボランティアに来てくれました！入居者様と一緒にという活動は叶いませんでしたが、草むしりや車椅子の掃除などを行っていただきました。あっという間にきれいになって有難い限りです。暑い中本当にありがとうございました！また是非お待ちしております！！

田子のまち 9周年を迎えました

Since
2013・9



編集後記

今年は、感染対策を行った上で少人数での車で外出を行うことができました。久しぶりの外出に、入居者様はもちろんです。職員もいつもよりテンションが上がっていたように感じます。制限の中でも「何かやれることはないかな」「これならできかな」と考えながら入居者様が楽しめる催し物を企画していきたいです。

広報委員／ 大山諒、板宮由加里、村上理沙、新山彩加、工藤麻未、川村媛那、相馬愛実、大沼晴与

介護老人福祉施設
田子のまち

〒983-0021 仙台市宮城野区田子字富里153番
TEL 022-388-9970 FAX 022-388-9980
ホームページ <http://www.kou-fuku.or.jp/tago/>